

平成 28 年度第 1 回岡崎市少年愛護センター運営委員会

日 時 平成 28 年 7 月 11 日 (月) 午後 2 時

会 場 岡崎市役所西庁舎 4 階 401 号室

出席委員

委員長

石 川 優 (岡崎市社会福祉協議会長)
柴 田 和 子 (岡崎市民生委員児童委員協議会児童福祉部会副会長)
足 立 佐恵子 (学区女性団体代表 (根石学区代表))
成 瀬 眞佐子 (岡崎少年愛護センター地域指導員)
岡 部 克 彦 (岡崎市小中学校現職研修委員会生徒指導部長 (六ツ美北中学校長))
谷 上 正 明 (県立高等学校生徒指導部代表 (岡崎高等学校教諭))
田 中 信 宏 (私立高等学校生徒指導部代表 (岡崎学園高等学校教諭))
三 輪 晴 美 (一般公募)
宮 澤 会美香 (一般公募)

事務局

小野 鋼二 社会教育課長
社会教育課社会教育班 大澤、酒井、松崎
少年愛護センター 金澤、大山

議 題

- (1) 平成 27 年度 活動状況について
- (2) 平成 28 年度 活動計画について

(1) 平成 27 年度 活動状況について

配布資料に基づき、愛護センター職員より平成 27 年度の活動状況を説明。

193 名の指導員の協力の下、青少年の非行防止・愛護善導の補導活動を行った。1 年間の回数は 551 回、場所は 2,931 カ所、補導した少年の数は 3,634 人。「愛の一声」を基本とした少年への声掛けが基本だが、喫煙や怠学行為等の少年は家庭、学校等へ通報連絡した。(通報連絡した少年の数 13 人)

未成年の喫煙というと建物の影や駐車場の済みで「隠れて吸う」イメージがあるが、社会全体での分煙が定着してきているので、喫煙をする少年も喫煙室で吸っていることが多い。

少年相談は、来所による相談が 25 件、電話による相談が 15 件あった。相談件数の 3 分の 2 が、不登校・登校しぶり・仕事に就かない無職少年に関する相談であった。複数回相談される方もいる。

(2) 平成 28 年度 活動計画について

配布資料に基づき、愛護センター職員から平成 28 年度の活動計画を説明。

街頭補導は年間で 580 回以上、指導員は延べ 2,800 人あまりの動員を予定している。センター補導では大型ショッピングセンター・ゲーム場・公園などを巡回

補導する。夏には河川を巡回するなど、時期等に応じて臨機応変に巡回場所を変えている。学区補導では、学区の実情に応じた巡回活動、および民生委員・主任児童委員と生徒指導担当教諭の情報交換を行う。

その他、来所および電話による相談活動、不審者被害状況の集約と情報提供を行うほか、今年度から新たに設置されたスクールソーシャルワーカーとの連携も図っていく。

6月までの市内の様子は、全体的に落ち着いて静かな印象を受ける。しかし、テスト週間などにおける高校生のフードコートでの過ごし方や、中高生の自転車のマナーに問題がある。